



久留米市美術館

## とき・ひと・美をむすぶ

市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。

### 色から音が聴こえる？

少女の左膝辺りを見てみると、画面左に向かって針金と思われる黒い線が伸びていることが分かります。

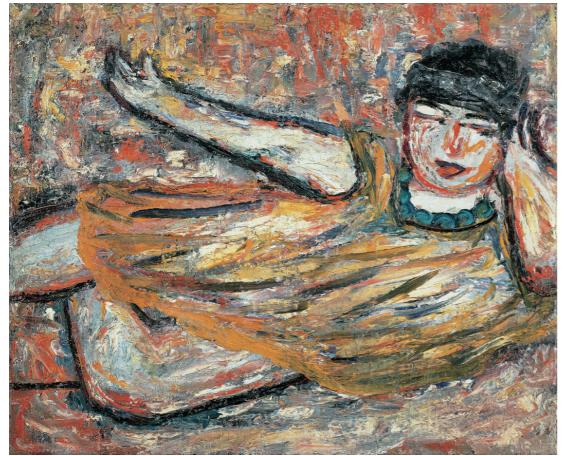
この作品は、サーカスの綱渡りの光景を描いたものと言われており、右手を上げた不思議な姿勢は、空中技の最中か、決めポーズでしょう。めくれあがった衣服からは、少女が激しく動いているように見えますが、厚く塗られた絵の具やくっきりとした太い輪郭線などの筆跡からは、むしろ少女が静止しているように見えてきます。

背景には具体的なイメージが何も描かれていません。利行は、黄色をマンドリンの音色に例えたこともあるため、サーカス小屋にこだまする歓声や、充満している熱気を描こうとして、暖色系の色彩を散りばめたのかもしれません。皆さん、この絵からどのような音が聴こえるでしょうか。

【学芸員：森智志】

久留米市美術館

(☎ 0942・39・1131、fax 0942・39・3134)



《針金の上の少女》1928年、個人蔵

**長谷川利行展 11月4日(日)まで**  
HASEKAWA TOSHIYUKI



子どもたちと、まちと、  
文化の明日を元気にする

## 久留米シティプラザ

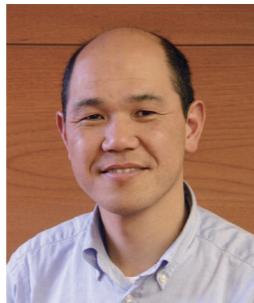


シティプラザの主催・提携イベントを紹介します。

小松杏里のくるめ演劇塾 2018 後期  
特別ゼミ参加者募集

■日時 11月11日(日)14時～17時 ■会場スタジオ ■対象 中学生以上 ■内容 宮崎県の劇団こふく劇場主宰の永山智行氏を講師に「かもめ」や「三人姉妹」で知られるロシアの劇作家チエーホフの世界を体験するレッスン ■料金 1,000円。申込書は問い合わせ先・ホームページに準備

久留米シティプラザ (☎ 0942・36・3000、  
fax 0942・36・3087)



永山智行氏

## MICE情報

※ MICE (マイス) とは、多くの集客・交流が見込まれる会議 (Meeting)、研修旅行 (Incentive Travel)、学会や国際会議 (Convention)、展示会や見本市 (Exhibition/Event) の頭文字を取った言葉です

シティプラザで開催されるMICEを紹介します。

### ● 10月24日(木)～27日(日)・第62回宇宙科学技術連合講演会・第26回衛星設計コンテスト

(関係者のみ。一部、料金無料の公開講演を開催) 詳しくは「情報ほっとライン」16ページに掲載  
④日本航空宇宙学会事務局 (URL : <http://branch.jsass.or.jp/ukaren62/koukai/>)

● 11月4日(日)～「ひふの日」記念市民公開講座 詳しくは「情報ほっとライン」15ページに掲載  
④久留米大学医学部皮膚科学教室 (☎ 0942・31・7571、fax 0942・34・2620)

11月3日祝から  
12月2日(日)まで  
10時～17時  
金・土・日曜は20時まで  
ライトアップ



ISHIBASHI  
CULTURAL CENTER  
ART FESTIVAL  
石橋文化センター アートフェスティバル



夜はライトアップで  
幻想的な雰囲気に(昨年の様子)

## 秋の園内がアートに包まれる

11月3日祝から12月2日(日)まで「石橋文化センターをひとつのミュージアムに」をコンセプトとして、園内の各所にアート作品を展示します。夜には作品や紅葉をライトアップ。期間中は秋のバラフェアやもみじまつりなども開催されます。コンサートの音楽が流れる園内にマルシェやカフェが並び、園全体が芸術にあふれます。

### 巨大ペリカンが登場

久留米市民になじみの深い、石橋文化センターのペリカン噴水をモチーフとした作品を展示。「巨大ペリカンの夢」というオリジナルの物語を基に、田主丸町在住のアーティスト牛嶋均さんとオーギカナ工さんが、全長3mのペリカン型オブジェと巨大絵本を制作しました。ペリカンのくちばしには、子どもたちが入って遊ぶこともできます。市内の小学生14人と、久留米大学生や南筑高校美術部の生徒も作品作りに参加しました。

アーティストを志す大学生も、作品を披露しま



小学生がペリカンの姿を聞いて絵本の一場面や物語を描きました

す。今年は九州産業大学と佐賀大学が参加。園内の生き物や自然をテーマに制作した色とりどりの魚や雲、市出身の洋画家・青木繁の「海の幸」に着想を得た立体作品などが、坂本繁二郎旧アトリエ周辺に展示されます。

### 水上都市を作るワークショップ

11月3日祝、4日(日)には、ワークショップを開催。石橋文化ホールや久留米市庁舎など、市内数々の建築物を手掛けた市出身の建築家・菊竹清訓氏が構想した「海上都市」をモチーフに、長崎県在住の建築家・篠崎竜大さんと一緒に巨大な水上都市を作ります。作品は期間中、園内の池に浮かべて展示します。

### ●水に浮かぶまちを作ろう

■日時 11月3日祝・4日(日) ■料金無料 ■申し込み不要  
④石橋文化センター

(☎ 0942・33・2271、fax 0942・39・7837)



アートと紅葉が訪れる人を楽しませます(昨年の様子)